

基本目標 1 地域での日本語教育の体制づくり

基本施策	内 容	R 7アクションプラン	R7事業実績	R8事業予定	取組主体
日本語教室の実施	継続的な学習ができるよう、開催日や時間帯などのニーズを把握しながら実施します。	日本語教室を市委託事業として実施し、各教室の様子を市と国際交流協会で共有する。	・日本語教室を市から国際交流協会への委託事業として実施した。 ・2週間に1回、観光商工課と国際交流協会事務局の打合せを実施し、各教室の様子を共有した。 【成果】 打合せや見学により各教室の様子を共有できている。開催日及び時間帯の問題はない。	・以下の委託日本語教室を実施する。 ・ウェルカム日本語教室 ・にほんごで、はなそう！ながくてクラス ・こどもにほんご ・観光商工課と国際交流協会事務局の打合せを実施する。	市 国際交流協会
	学習者と支援者が共に学び合える体制を充実します。	日本語教室内での学習者と支援者の会話や、課外学習などお互いの理解を深める機会をつくる。	日本語教室の委託内容に教室外学習を含め、下記内容を実施した。 ・7月6日（日）相撲部屋の見学（愛知学院大学） ・9月7日（日）愛知県警察署による子ども向け交通安全講座 ・11月2日（日）留学生と学習者の交流（愛知県立大学） ・11月16日(日) 西小学校区共生ステーションでの防災訓練への学習者の参加及び「やさしい日本語」のブース出展を行った。 【成果】 防災訓練について、支援者と共に地域の行事に参加し、防災を体験して学ぶ場になると共に、地域住民にとって、やさしい日本語やハラル食、外国人住民も地域の一員であることを知る機会となった。	委託日本語教室の教室外学習を実施する。 ・（9月5日（土））防災サバイバルフェス	市 国際交流協会
日本語教育に関する研修の実施	地域の日本語教育について学ぶ研修を愛知県立大学や近隣市町の大学と合同で実施し、支援者のスキルアップを行います。	支援者の不安や疑問解消を目的とした研修を実施する。	支援者のスキルアップを目的に下記の研修を実施した。 ・8月30日(土) 「スキルアップ研修」 20名参加 ・4月から月1回（8月を除く）「まなびばふらっと(支援者向けオンライン研修)」各回約10名参加 【成果】 支援者のスキルアップ講座を継続的に実施することで、支援者が日頃の支援の疑問や悩みを気軽に話して解消できる場となった。また、まなびばふらっとでは、地域で外国人支援に関わる人をゲストスピーカーとすることで、外国人の生活について学び考えられる場となっている。	支援者のスキルアップを目的とした研修を実施する。 ・（8月22日（土））支援者のスキルアップ研修 ・支援者向けオンライン研修	市 国際交流協会
	新たな支援者の発掘や育成に向けた講座などを実施し、支援者を増やす取り組みを行います。	・ボランティアの継続状況を把握する。 ・各日本語教室で支援者を育成する体制づくりを行う。	・各日本語教室でボランティア希望者の見学や体験を受け入れ、その様子を国際交流協会事務局が見学や聞き取りで把握した。 ・日本語教室及び日本語教育支援事業ボランティア初心者向けの「活動のしおり」の作成に着手（R8完成予定） 【成果】 日本語教室のボランティアについて、産官連携による地域日本語教室支援事業「子ども向け日本語教室 マッチングイベント」をきっかけに参加されるようになった企業からのボランティアが継続して活動している。	・日本語教室ボランティア向け研修を実施する。 ・日本語教室及び日本語教育支援事業ボランティア初心者向けの「活動のしおり」を完成させる。	市 国際交流協会
生活の場面で使用する日本語の習得支援	銀行、病院、郵便局など生活の場面で使用する日本語の表現や単語について、日本語教室の学習内容にロールプレイや読み書き等の実践的に取り組める内容を組み込みます。	文部科学省作成の「『生活者としての外国人』に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案」を各日本語教室で活用する。	同教材の使用を前提とした「にほんごで、はなそう！ながくてクラス（木曜）」と「ウェルカムにほんご教室」で引き続き活用している。 【成果】 生活の場面で使用する日本語を、学習者に合わせて教えることができた。従来の文法重視の内容とのバランスをとり、ニーズに応じた教育内容を提供することができている。	文部科学省作成の「『生活者としての外国人』に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案」を各日本語教室で活用する。	市 国際交流協会
さまざまな学習方法の情報提供	外国人市民が個人での日本語学習に活用可能な教材（アプリや教科書など）について情報を提供します。	さまざまな学習方法の情報を掲載していることを周知する。	協力確認書提出企業への案内を通じて、従業員への周知依頼や聞き取りを行った。 ・JICE主催の「はたらく上で必要な日本語研修」のメール周知 ・観光商工課及び国際交流協会の紹介メール送付 ・連絡先の確認、就業している特定技能外国人数と国籍の聞き取り 【課題】 国際交流協会に繋がっていない人への周知の機会が少ない。	・市民課での配布物を見直す（国際交流協会のリーフレット配布のみであるため、日本語教室の概要や相談窓口について追加する）。 ・協力確認書提出事業者へ情報を周知する。	市 国際交流協会

基本目標3 暮らしやすい生活環境を整える

基本施策	内 容	R 7 アクションプラン	R7年度実績	R8事業予定	取組主体
重点施策					
やさしい日本語の普及啓発	市職員や市民へ、やさしい日本語を普及啓発し、窓口対応や防災の情報を伝える際に使用できる環境を整えます。	・職員向けのやさしい日本語に関する講座を実施する。 ・市民に向けたやさしい日本語の周知を行う。	・市職員向けに下記の研修を実施した。 4月2日(水) 新規採用職員研修 「やさしい日本語を使用した窓口対応について」 22名参加 12月25日(木) 多文化共生推進連絡会議「やさしい日本語」のグループワーク 23名参加 ・11月16日(日) 西小学校区共生ステーションでの防災訓練で「やさしい日本語」のブースを出展した。 ----- 【成果】 ・窓口対応の多い職員が、外国人市民へ分かりやすく伝えることを意識する機会となった。 ・地域住民が、やさしい日本語やハラル食について知る機会となった。 【課題】 ・係長級以上の職員へ、やさしい日本語を使用した窓口・電話対応の必要性について周知できていない。 ・地域のサポート役を担う市民への周知ができていない。	・（9月頃）職員向け研修を実施する。 ↳実際に外国人とコミュニケーションを取る ↳「文章を短く切って話すこと」を学ぶ ・民生委員・児童委員、主任児童委員に向けた研修を実施する。	市 国際交流協会
社会保障制度や防災・防犯に関する情報提供 （やさしい日本語・多言語での情報提供）	情報提供の場所やタイミング、発信方法を整理します。	担当部署と協力し、優先度が高いものから、やさしい日本語や翻訳しやすい媒体での発信を検討する。	・多文化共生推進連絡会議を開催し、外国人市民に対する各課での取り組み及び課題を把握した。 ・市民から寄せられた困りごとの相談に対し「夜間の過ごし方に関するお知らせ」の英語版とやさしい日本語版を作成し、外国人市民の自宅へポスティングを行った。 ・環境課からの依頼があり、ゴミの出し案内のベトナム語版、ネパール語版、やさしい日本語版を作成した。 ・出入国在留管理庁「生活オリエンテーション動画」の周知ポスター（やさしい日本語版）を市民課へ掲示した。 ----- 【成果】 各課や地域のニーズに合わせた外国人市民への情報提供ができた。 【課題】 ・SNSを活用した発信の検討ができていない。	・やさしい日本語や多言語にする必要のある印刷物等について、実装に向けて担当課や長久手市国際交流協会と協力する。 ・必要に応じて、国や県等のチラシを活用した外国人市民への情報周知を行う。 ・SNSを活用した発信を検討する。	市 国際交流協会
	社会保障制度の加入やサービス利用の案内にやさしい日本語や多言語翻訳を活用します。	担当部署と協力し、優先度が高いものから、やさしい日本語や翻訳しやすい媒体での発信を検討する。	保健医療課及び税務課へのヒアリングから外国人市民の窓口対応や通知発送の現状を把握した。 ----- 【課題】 各課からの送付文書について、全体数が多く外国人のピックアップや個別対応は時間や手間がかかり難しい。	・令和7年度に把握した課題の中で取り組めることを各課と調整する。 ・日本語教室で「病院のかかり方」を1回分のテーマとして取り上げる。	市 国際交流協会
	防災・防犯の必要性やルールをやさしい日本語や多言語で発信し、トラブルを事前に予防する体制を整えます。	防犯や交通安全に関する講座を実施する。	・交通安全と防災の情報を伝えることを目的とし、下記のイベント等を実施した。 ・9月7日（日）こどもにほんご 交通安全教室（協力：愛知警察署） ・11月16日（日）西小学校区共生ステーションでの防災訓練への学習者の参加及び「やさしい日本語」のブース出展。外国人市民約20名参加。 ・自転車の交通反則通告制度(青切符)について、愛知県作成のチラシ及びホームページの内容を外国人従業員へ案内するように、協力確認書提出事業所へメールで周知した。 ----- 【課題】 防犯に関しては、情報発信ができていない。	・（6月）名古屋外国語大学へ依頼し、外国人市民向けの自転車青切符に関する啓発チラシを作成する。 ・（8月頃）自転車の交通ルール周知ツールを作成し、日本語教室学習者、留学生、就業者へ周知する。 ・（9月5日（土））防災サバイバルフェス ・防犯の必要性に関する情報発信を検討する。	市 国際交流協会

基本施策	内 容	R 7 アクションプラン	R 7 実績	R8事業予定	取組主体
生活相談体制の確保	相談先（国際交流協会、多文化共生担当課）の周知をします。	相談窓口の周知を継続する。	・ 国際交流協会外国人相談窓口を実施した。 ・ 転入者へ国際交流協会チラシを配布した。 ・ 12月25日（木）多文化共生推進連絡会議（庁内）で窓口対応の多い職員へ、観光商工課と国際交流協会の取組を紹介した。 ・ 協力確認書提出事業者へ、市の相談窓口が観光商工課と国際交流協会であることをメールで周知した。 【成果】 市役所各課及び協力確認書提出事業者へ相談先の周知ができ、各課については相談に繋がっている。 【課題】 相談先（国際交流協会、多文化共生担当課）を外国人市民や事業者へ周知するツールが無い。	・ 福祉事業所へやさしい日本語を周知する。 ・ （5月8日（金））障害福祉サービス事業所職員向け周知 ・ （7月29日（水））高齢者福祉事業所職員向け周知 ・ 外国人向け周知ツールを作成する。 ・ 特定技能機関の協力確認書を提出した新規事業者へ周知する。	市 国際交流協会 地域活動団体 社会福祉協議会
	相談内容と対応方法を蓄積していきます。	・ 各機関での記録を継続する。 ・ 必要に応じて情報共有の機会をつくる。	・ 2週間に1回、観光商工課と国際交流協会事務局の打合せを実施した。 ・ 観光商工課と国際交流協会担当で外国人相談窓口の状況報告を共有した。 ・ 社会福祉協議会から外国人対応について相談を受けた。 【成果】 相談内容や対応方法の共有ができた。	・ 国際交流協会事務局との打合せを実施する。 ・ 社会福祉協議会や地域団体と情報共有を行う。	市 国際交流協会 地域活動団体 社会福祉協議会
	専門的な対応が必要な相談は、市や国際交流協会、地域活動団体、社会福祉協議会等で連携して対応します。	・ 随時連携して対応する。 ・ 多文化共生推進会議や多文化共生推進連絡会議で対応事例等を共有する。	情報共有等の場として、下記の会議を実施した。 7月8日(火)、3月10日(火) 多文化共生推進会議（長久手市、長久手市国際交流協会、社会福祉協議会、学識経験者、市内事業者、市民） 12月25日(木) 多文化共生推進連絡会議（庁内職員） 【成果】 必要なタイミングで情報共有することができた。	・ （7月・3月）多文化共生推進会議 ・ （9月頃）多文化共生推進連絡会議	市 国際交流協会 地域活動団体 社会福祉協議会
関係機関との連携	問題解決に向けて迅速な対応ができるように、愛知県国際交流協会や出入国管理局といった各種関係機関と連携を図ります。	経営者や雇用者向けの外国人雇用に関する情報共有の機会をつくる。	・ 愛知県国際交流協会等が開催する会議や研修に参加した。 ・ 出入国管理局が作成した「外国人相談窓口における対応事例 集約版vol.5」を庁内各課、国際交流協会、社会福祉協議会へ情報共有を行った。 【課題】 経営者や雇用者が市からの情報提供として求める内容が把握できていない。	・ 愛知県国際協会や出入国管理庁からの情報を関係各所へ共有する。 ・ 協力確認書提出事業者へ観光商工課と国際交流協会を周知する。	市 国際交流協会

基本目標4 多文化理解と多文化交流のまちづくりの促進

基本施策	内 容	R7アクションプラン	R7年度実績	R8事業予定	取組主体
多文化理解講座の開催	日本や外国の文化や習慣を学べる多文化理解の講座や、交流の場を開催します。	・留学生交流会やくーてトーク等を実施する。 ・姉妹都市との交流事業を実施する。	下記のイベント等を実施した。 ・留学生交流会を6回実施 合計1215名参加 ・1月31日(土)くーてトーク2026開催 発表者22組 来場者100名 ・7月30日(水)から8月4日(月)まで姉妹都市友好親善訪問団（青少年20名、引率3名）を受入れ、ホームステイや 日本文化体験等を行った。 【成果】 様々な国籍や年代の人が日本や外国の文化・習慣を学べる機会となった。	・留学生交流会 ・（10月18日（日））せかいまるごとまつり ・（1月23日（土））くーてトーク2027	市 国際交流協会
国際交流イベントの開催	日本人市民と外国人市民がともに主体となって運営し、交流の場を創出する国際交流イベントを開催します。	国際交流フェスタやくーてトーク等を実施する。	以下のイベント等を実施した。 ・5月18日(日) 愛知万博20周年記念事業「集まれ！あいちの魅力博。」出展（外国人も出展者・出演者として参加） ・1月31日(土) くーてトーク2026（外国人市民も評価サポーターとして参加） 【成果】 様々な国籍や年代の人が活躍し交流する機会となった。	・（10月18日（日））せかいまるごとまつり ・（1月23日（土））くーてトーク2027	市 国際交流協会
重点施策					
外国人市民と地域をつなぐ 機会の創出	まちづくり活動に興味関心をもってもらえる情報発信を行います。	・地域に向く企画を行うことで、外国人と市・国際交流協会・地域住民が繋がる機会をつくる。	2月25日（水） 井堀地区の民生委員へヒアリングを実施し、外国人市民が自治会役員を担っている様子や、同じ国の人同士の集まりがあることについて把握した。 【課題】 外国人市民に、まちづくり活動に興味関心をもってもらうための情報発信方法は引き続き検討が必要。	・市内外国人住民向けの情報発信方法を検討する。 ・民生委員向けやさしい日本語研修にて、市内外国人の状況等を周知する。	市 国際交流協会 社会福祉協議会 地域活動団体
	外国人市民の「やってみたい！」をサポートします。	イベント等に関する情報提供を行い、参加の際には必要に応じてサポートを行う。	愛知県からの依頼をきっかけに外国人市民へ情報提供を行い、7月12日（土）あいち多文化共生タウンミーティングに参加した。 【成果】 県内の外国人キーパーソンと一緒に、地域での取組や国ごとの情報伝達方法等を共有することができた。 【課題】 現状では、自発的にやりたいことがある人を見つけられていない。	・イベント等に関する情報提供及び参加時のサポートを行う。 ・職員向け研修（多文化共生推進連絡会議）にて、職員が実際に外国人と話す機会をつくり、多文化共生推進の支援者として外国人の活躍の場をつくる。	市 国際交流協会 社会福祉協議会 地域活動団体